

単元名

どうぶつ ひみつ はっ見！
～ニュースキャスターになって どうぶつのひみつをつたえよう～
(ビーバーの大工事)

男子 8名 女子 12名
 計 20名

1 単元のデザイン

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語内容C(1)ウ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」を受けて設定されたものである。
- 本教材「ビーバーの大工事」は、「木を切り倒すビーバー」「ダムを作るビーバー」「巣を作るビーバー」という3つのまとまりから構成され、ビーバーの体の特徴や生態の説明を織り交ぜながら、ビーバーの行動の順序が述べられている。また、本文に沿った写真や挿絵があり、擬態語や擬声語が効果的に用いられ、児童が具体的にイメージしながら興味をもって学習を進めることができる教材である。
- 「ニュースキャスターになって動物のひみつを伝える」という言語活動を取り入れることで、本や図鑑から重要な語や文を選び出したり、文と文の続き方に注意して書き表したりして、本校で育成を目指す資質・能力を育むことができる。

児童の実態

- 1学期に学習した説明文「たんぼぼ」では、「たんぼぼのひみつを見つけて1年生やおうちの人に教えよう」を単元のゴールとし、すごいと思ったことを絵と文でまとめる活動を行った。挿絵を手掛かりに取り組んだが、4名の児童は文章から読み取ったことを自分の力で文章にまとめることが難しかった。
- 「文章の中の重要な語や文を選び出す」ことに関して、「たんぼぼ」の単元学習後のテスト(思考力・判断力・表現力)によると、80点以上取ることができた児童は77%であった。

パフォーマンス課題について

- 本単元では、自分で選んだ動物のすごいと思うところ(ひみつ)を文章にまとめ、交流のある1年生の前で、写真を見せながらニュースキャスターになって伝えるというパフォーマンス課題を設定する。聞き手に情報を伝える役割のニュースキャスターになりきることで児童の意欲を高めるとともに、相手意識、目的意識を明確にした課題を初めに児童に提示し、教材文での学びを他の動物に広げることで、知りたいことに関係のある重要な語や文に着目しながら文章を読む力や、相手に分かりやすく伝える力を身に付けることができると考える。

思考を深める指導のポイント

- 教材文「ビーバーの大工事」では、写真や挿絵を叙述と結び付けながら、文章に線を引いて重要な語や文に気付かせていく。また、ビーバーの3つの大工事を思考の型(比較・関連)を用いながら読み取ることで、全体の構成を捉えさせる。
- 自分で選んだ動物の写真をタブレットを活用して取り込み、伝えたいひみつを明確にイメージさせる。順序を表す言葉や接続詞、文と文のつなげ方などの既習事項を掲示しておき、文章にまとめる時の手立てとする。

2 単元の目標

- ・動物の生態や特徴について書かれた文章で、共通、相違、事柄の順序などの関係を理解することができる。 **【知識及び技能】**
- ・動物の生態や特徴について文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 **【思考力、判断力、表現力等】**
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 **【学びに向かう力、人間性等】**

3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①動物の生態や特徴について書かれた文章で、共通、相違、事柄の順序などの関係を理解している。	①「読むこと」において、動物の生態や特徴について文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	①進んで、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習の見通しをもって、伝えたことを文章にまとめようとしている。

4 単元計画（全13時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
一	1	課題の設定 ニュースキャスターになって動物のひみつを1年生に伝えるという学習のゴールを知り，見通しをもつ。				
	2		全文を読んで初発の感想をもち，交流する。			
二	3	情報の収集・整理・分析 「木を切りたおすビーバー」の様子や体の特徴を読み取る。 関連付ける	○知①（発言，ワークシート）	◎思①（発言，ワークシート）		
	4			○思①（ワークシート，タブレット画面）	○態①（行動観察）	
	5		○知①（発言，ワークシート）	◎思①（発言，ワークシート）		
	6			○思①（ワークシート，タブレット画面）	○態①（行動観察）	
	7 （本時）		「すをつくるビーバー」の様子をダムを作る目的と関係付けて読み取る。 比較する 関連付ける		◎思①（発言，ワークシート）	
	8		「すをつくるビーバー」のひみつを写真と文章にまとめる。		○思①（ワークシート，タブレット画面）	○態①（行動観察）

三	9 5 11	まとめ・創造・表現	パフォーマンス課題に取り組む。 ・本や図鑑から自分で動物を選び、ひみつを見付ける。 ・動物のひみつを文章と写真にまとめる。 ・発表の練習をする。	◎知①(ワークシート)	◎思①(パフォーマンス課題)	◎態①(行動観察)
四	12	実行	1年生の前で、自分で選んだ動物のひみつを伝える。			◎態①(行動観察)
五	13	振り返り	学習内容の振り返りをする。			◎態①(発言, ワークシート)

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を、その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

5 本時の学習（本時7／13）

（1）本時の目標

ビーバーが作る巣の様子を，ダムをつくる目的と関係付けて読み取ることができる。

【思考・判断・表現】

（2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前時までの学習内容を想起する。 2 ⑯～⑳段落を音読する。 3 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り，ビーバーのひみつを見付けるためにさらに読み進めていこうと呼びかける。 主にビーバーの巣について書かれていることを確認する。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">すを作るビーバーのひみつを読みとろう。</div>		
考える	4 ビーバーの巣の様子を読みとる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">比較する</div>	<ul style="list-style-type: none"> 巣の様子について書かれている部分に線を引いてから，発表させる。 ダムの作り方と比較し，木や石などの絵を提示しながら巣の作り方を確認する。 	
	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">学び合い①自分の考えをもつ</div>	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">学び合い②関連付けて思考する</div>	
	5 ビーバーがダムを作る理由を考え，話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">関連付ける</div> ○ビーバーがダムを作るのはなぜでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> 水をせき止めてみずうみを作るため。 みずうみの真ん中に巣を作るため。 せき止めているから流されない。 敵に襲われない安全な巣を作るため。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに自分の考えを書いてからペアで話し合う。 湖の真ん中に巣があること，巣の入口が水の中にあり，泳ぎの上手な動物でないと入れないことから，敵に襲われない安全な巣をつくるためであることをおさえる。 	文章の中の重要な言葉を考え，書き抜くことができる。 【思・判・表】 (ワークシート)

深 め る	<p>学び合い③考えを広げたり深めたりする</p> <p>6 話し合ったことを全体で交流する。</p>	<p>・これまでの大工事は、安全な巣を作ることに繋がっていることや、ビーバーの能力と知恵にも気付かせる。</p>
	<p>7 本時の学習をまとめる。</p> <p>ビーバーは、木を切りたおしてダムを作り、てきにおそわれないあんぜんなすを作る。</p>	
振 り 返 る	<p>8 学習の振り返りを行う。</p>	<p>・本時の学習で分かったことや次にながらばりたいことをワークシートに書く。</p>

6 板書計画

① ビーバーのダムを作る りゆう

川の水をせき止めて みずうみを作る
てきにおそわれない あんぜんなすを作るため

② つなげる

木を切りたおす 大工事

③ ダムを作る 大工事

くらべる

ダムの作り方と同じ

すを作る 大工事

ビーバーのす

④ すをつくる ビーバーのひみつを 読みとろう。

- ・みずうみの まん中に
- ・木と 石と どろを つみ上げて作る
- ・水の上に うかんだ しまのよう
- ・入り口が 水の中にある

←

およぎの上手な どうぶつでないとする 中に入れない

⑤ ま あんぜんなすを作る。

ビーバーは 木を切りたおして ダムを作り、てきに おそわれない

⑥ ダムが できあがって、水がせき止められると、その内がわに みずうみが できます。

⑦ ビーバーは、そのみずうみの まん中に、すを 作ります。

⑧ すは、ダムと同じように、木と石とどろを つみ上げて 作ります。それは、まるで、水の上の うかんだ しまのようです。

⑨ すの 入り口は、水の中にある、ビーバーのように、およぎの 上手な どうぶつでない、かつして すの中に入る ことは できません。

⑩ ビーバーが ダムを作るのは、それで 川の 水を、せき止めて、みずうみを、作り、そのみずうみの中に、てきに、おそわれない、あんぜんなすを作る、ためなのです。

ながわしろう